

藤田友和 Tomokazu Fujita

JARTA SSrank

理学療法士 | oboro(パーソナルコンディショニング施設)代表

FMS level.I. II | TPI level. I | 日本騎手クラブ(JRA)公認メディカルサポートメンバー

主な実績

2009年～2015年 全国高等学校野球選手権大阪予選メディカルサポート

全日本中学校軟式野球大会メディカルサポート

春、夏甲子園大会のメディカルサポートに班長で参加

大阪府、三重県、和歌山県の高校野球部で選手・指導者に対しての障害予防の講演など

大阪府の全国大会出場レベルの高校野球部とバスケットボール部のサポート

somecity osaka (3on3バスケットボール) のサポート

OSAKA OPENメディカルサポート (パラリンピック出場選手も出場)

2012年～2014年 18U高校野球世界大会(高校野球の日本代表)の合宿帯同

2014年 イタリア研修にてイタリア人や日本人選手へのトレーニング指導

2016年～2021年 テイクフィジカルコンディショニングジムにテクニカルマネジャーとして勤務

2017年～ JRAメディカルサポート開始

2017年～ 大学野球部サポート開始

2021年～ 高校野球部サポート開始

2022年～ 高校女子バスケットボール部サポート開始

チーム契約

大学野球部、高校野球部、高校女子バスケットボール部

個人契約

車椅子女子バスケットボール選手(東京パラ日本代表)、JRA騎手(8名)、bリーグ選手、女子プロテニス選手

執筆

月刊トレーニングジャーナル2017年9月号 | 藤田友和

バランス能力が求められる競技のコンディショニング

—— 競馬や競艇における評価のポイント

アスリートからの要望という、高いレベルのニーズに応えるために勉強を続け、どんな相手にも態度を変えずに真摯に向き合う。中野の「選手のニーズに応えるためには、手段を選ばない」という言葉に感銘を受け中野を師と仰いでいる。